

仙石原ススキ草原&長尾峠～湖尻ハイキング

開催日 2023年10月28日(土) 天候:晴 距離:12km 健脚LV2

集合 JR小田原駅 8時15分

コース 小田原駅東口バス停→仙石高原バス停(標高660m)→仙石原ススキ草原往復→つつじ通り→仙石原湖尻自然探勝歩道→耕牧舎跡 長尾峠登山口→長尾峠(標高911m)→箱根外輪縦走コース→箱根スカイライン料金所(昼食)→箱根外輪縦走コース→富士見ヶ丘公園(標高1000m)→(この日のコース最高地点 標高1063m)→芦ノ湖展望公園→分岐→芦ノ湖畔駐車場→湖尻水門→湖畔の道→桃源台(標高740m)(バス)→箱根湯本駅→小田原駅

参加者 21人

A班 熊坂班長 市村L 河野SL 三田 加納 松本 玉利 高津佐 沼津 田村

B班 山田班長 常盤SL 風間SL 勅使河原 山内 清水 井内 栗田 畠 大城 飯倉

神奈川の景勝50選のふたつ、秋の仙石原と長尾峠を歩きました。ススキの見頃は9月下旬から11月上旬、早めの時期は銀色にキラキラと輝く穂が美しく、秋が深まるにつれて穂が開き淡い金色の草原へと変わっていきます。この日は、青空に映える黄金色になったススキ原を楽しむことができました。汗をかいて登った長尾峠は達成感いっぱい、台ヶ岳とススキ原、白煙の大涌谷、箱根最高峰の神山、芦ノ湖の大パノラマは素晴らしかったです。箱根外輪縦走コースを歩き、富士見ヶ丘公園や芦ノ湖展望公園からの景色も、歩いて来たからこそ感慨ひとしお。天候にも恵まれて、高く澄んだ青い空と白い雲と少しひんやりした空気、秋のハイキングを堪能しました。



小田原駅 8時30分～9時35分 仙石高原バス停 銀色に輝くススキ原

朝4時、西の空に月が沈むところでした。今日の集合場所はJR小田原駅、参加者が続々集合。バスが混雑しそうなので早く集合した人は予定より1本早いバスに乗車。私は三田さんと予定時刻のバスに乗車、交通渋滞をして9時35分に仙石高原バス停に到着。黄金色に輝くススキ原の遊歩道を沢山の人が上って行っています。このころ先行組はススキ原の上まで達していたようです。熊坂さんが、ススキ原を歩くみなさんとリンドウの写真を寄せてくれました。最後の写真は下見をした6月19日、ススキ原は緑の草原でした。



252		Sengoku-kogen 仙石高原									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
1240	1190	1150	1090	1030	980	940	880	730	650	600	560
12	13	14	15	16	17	520	460	400	330	240	200
18	19	20	21	22	23						



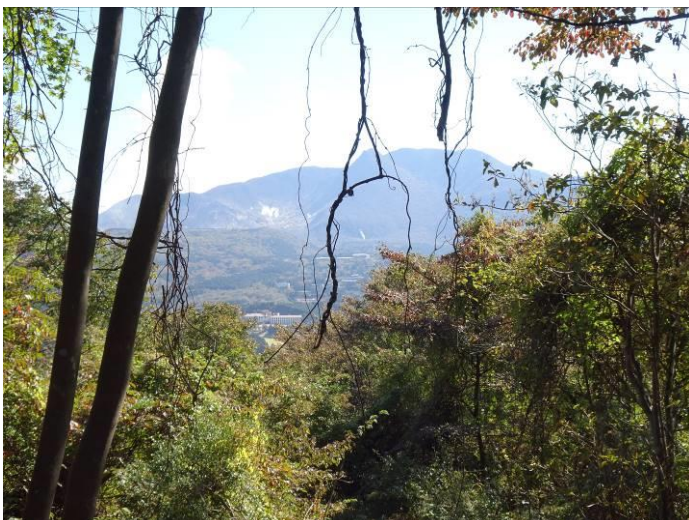
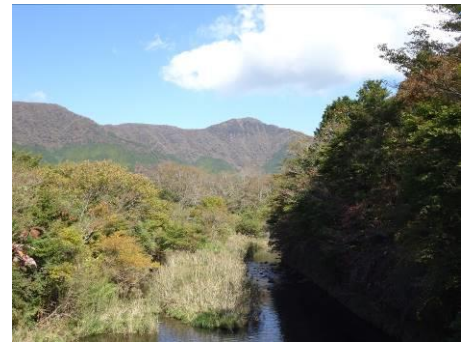
先行組と合流～箱根湿生花園方面へ～つつじ通り 先頭は常盤・風間両SL

私たちがススキ原の遊歩道を上って行くと中ほどで先行組が下りて来て合流。ススキ原を下りて、コンビニエンスストアの駐車場空きスペースでストレッチ。湯河原箱根仙石原線を仙石方面へ、右手のススキ原に列をなしている人が小さく見えます。箱根湿生花園方面へ曲り、左折してつつじ通りへ入りました。午前中の先頭は、常盤サブリーダーとこの日にサブリーダーデビューの風間さん、最後尾は河野サブリーダーです。



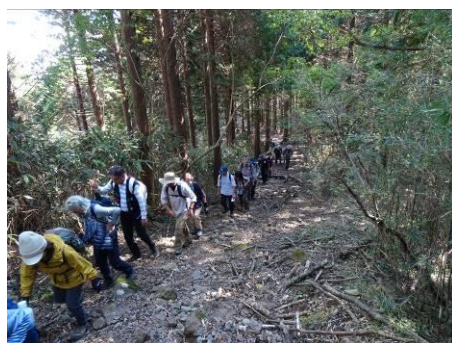
仙石原湖尻自然探勝歩道～木漏れ日射す早川沿いの石畳道～耕牧舎跡

つつじ通りから仙石原湖尻自然探勝歩道に入ります。早川右岸を下流に歩き橋を渡ります。前方に金時山が姿を現しました。木漏れ日射す左岸の石畳道を上流へ、名前の通り自然を満喫できる道です。サイクリング道路に出て少し進み、ゴルフ場脇のゆるやかな上り道に入ります。ここにもリンドウの花が咲いていました。大分汗ばんできて、神山が見える展望の良いところで水分補給の小休憩。少し下って耕牧舎跡へ、説明板に「明治13年、渋沢栄一、益田孝らは耕牧舎という会社を作り、仙石原村・元箱根村の原野約700ヘクタールを利用して牧場を開きました」と書かれています。牧場の跡地にゴルフ場ができたのでしょうか。



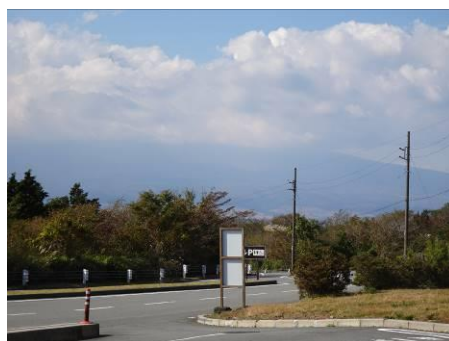
長尾峠登り口～長尾峠 台ヶ岳・ススキ原・大涌谷・神山・芦ノ湖を展望

耕牧舎跡で水分補給の小休憩、ここが長尾峠の登り口。道標には30分と表示されていますが、リーダーは「途中2回ほど小休憩をして40分かけて上ります」と告げて11時23分にスタート。風間、常盤両SLを先頭に元気よく峠をめざします。中間地点を通過、勾配が急峻になってきている感じ。11時8分、峠の茶屋があった標高911mの長尾峠に到着。しかし上り詰めたところは自動車が行き交う御殿場箱根線道路。「景色が見えないよ～」の声に、「こちらからの景色が最高」と案内。木々に遮られた隙間から展望が開け、左に台ヶ岳、麓にススキ原と広大なゴルフ場、右に白煙の大涌谷、箱根最高峰の神山(標高1438m)、さらに芦ノ湖が見えました。汗をかいて登って来た長尾峠、いにしえの人もここで一息入れたのでしょうか。



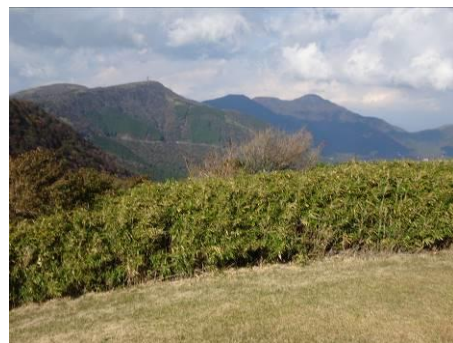
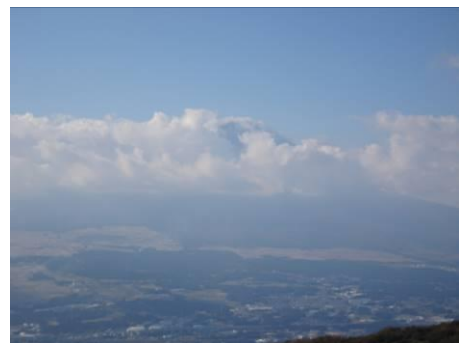
箱根外輪縦走コース～12時45分 箱根スカイライン料金所 昼食タイム

長尾峠は、江戸時代の箱根裏街道が通っており、乙女道路が開通する以前は仙石原と御殿場を結ぶ最短道路でした。箱根御殿場線のトンネルを抜ければ御殿場市です。神奈川景勝50選長尾峠の石碑を挟んで集合写真、これで秋の仙石原と合わせてふたつの神奈川景勝50選を踏破しました。ここから10分ほど上って箱根外輪縦走コースに入り西へ、8分ほど歩き北側の長尾駐車場方面へ下ります。箱根スカイラインの横を歩き12時45分、トイレがある料金所へ着きました。ここから条件が良ければ富士山を展望できるのですが、雲が覆っていて山頂が少し見えるだけでした。空きスペースを利用して昼食タイムです。



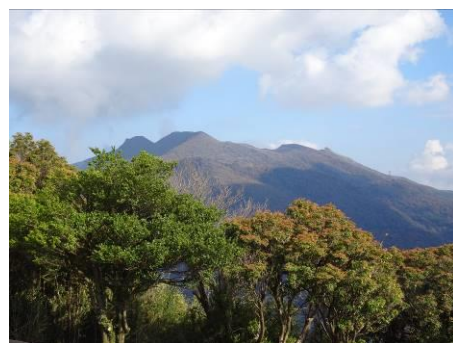
料金所 13時20分～箱根外輪縦走コース～14時 富士見ヶ丘公園

13時20分、午後のスタートです。少し上って再び箱根外輪縦走コースを西へ、午後はすれ違いもあるのでA班、少し離れてB班に分かれて歩きます。A班の先頭は三田さん、B班の先頭は風間さんと常盤さん、最後尾は山田さんです。背丈の高い竹の間の縦走コース、アップダウンを繰り返して次第に高度を上げて行きます。道脇の青い花、「トリカブトの花よ」と熊坂さんが教えてくれました。14時丁度に標高1000mの富士見ヶ丘公園に到着、標柱の写真は下見のときのもので芝が緑です。御殿場の市街地と富士山の山頂部が少し見え、振り返ると金時山などの山並みが見えました。集合写真を撮って水分補給と小休憩です。



富士見ヶ丘公園 14時10分～14時30分 芦ノ湖展望公園

富士見ヶ丘公園手前で若いランの人が追いついてきました。「どこから来たのですか」と尋ねると「湯本から上って来て湯本に戻る」と言って追い抜いて行きました。箱根湯本から明星ヶ岳～明神ヶ岳～金時山～丸山と縦走して、私たちを抜いて黒岳～三国山～元箱根～浅間山～鷹巣山～箱根湯本のコースのようです。ネットで山行記録を調べましたら、距離は約48km、歩行時間は18時間ほどでした。私たちは身の丈に合った距離とコースタイムで歩きます。14時10分に富士見ヶ丘公園をあとにします。アップダウンを経て標高1063mのこの日のコース最高地点を通過。ここからは下り、湖尻峠を通過して14時30分に芦ノ湖や歩いて来た山並みが見える芦ノ湖展望公園へ到着、影が大分長くなってきました。高く澄みわたる青い空に白い雲、みなさん達成感いっぱい、あとは下りだけなのでリラックスモードが漂っています。



芦ノ湖展望公園 14時40分～15時10分下山～クールダウン

靴紐のゆるみ点検とストックの長さを調整。芦ノ湖展望公園を14時40分に出て少し東へ戻り、分岐を南方面へ下ります。眼下に芦ノ湖の水面が見えますが、急峻な下り道ですので足元に注意して下ります。この間は下山に専念して写真撮影はカット、50mごとに設置されている箱根町歩道管理標柱のナンバーが減って行くのが励みになります。ナンバー1を過ぎて、15時10分に下山してホッと一息。先行組6人（三田、熊坂、清水、松本、大城、高津佐さん）グループは、5分ほど早く下山したようで小休憩中。湖尻水門方面へ下り、芦ノ湖畔の駐車場一角の空きスペースへ。熊坂さんのリードで入念にクールダウンをしました。



湖尻水門～湖畔の道～15時45分桃源台 2万3000歩 12km

湖尻水門の上を歩き芦ノ湖湖畔の道を進んで15時45分、海賊船が停泊する桃源台に着きました。歩数2万3000歩、距離12kmでした。桃源台バス停16時5分発に乗車、夕闇迫るススキ原横を通過、まだ歩いている人がいます。湯本駅手前の出山バス停あたりから渋滞、湯本バス停を過ぎてからは順調に走りましたが25分遅れの17時35分に小田原駅バス停へ到着。南東の空に満月前日の月が出ていました。



gendai Bus information

路線バス停	発車予定時刻表	Today	Saturday	Sunday	Holiday
小田原駅	小田原駅	小田原駅	小田原駅	小田原駅	小田原駅
Odawara Station	Odawara Station	Odawara Station	Odawara Station	Odawara Station	Odawara Station
6:30	6:30	6:30	6:30	6:30	6:30
7:00	7:00	7:00	7:00	7:00	7:00
7:30	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30
8:00	8:00	8:00	8:00	8:00	8:00
8:30	8:30	8:30	8:30	8:30	8:30
9:00	9:00	9:00	9:00	9:00	9:00
9:30	9:30	9:30	9:30	9:30	9:30
10:00	10:00	10:00	10:00	10:00	10:00
10:30	10:30	10:30	10:30	10:30	10:30
11:00	11:00	11:00	11:00	11:00	11:00
11:30	11:30	11:30	11:30	11:30	11:30
12:00	12:00	12:00	12:00	12:00	12:00
12:30	12:30	12:30	12:30	12:30	12:30
13:00	13:00	13:00	13:00	13:00	13:00
13:30	13:30	13:30	13:30	13:30	13:30
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00
14:30	14:30	14:30	14:30	14:30	14:30
15:00	15:00	15:00	15:00	15:00	15:00
15:30	15:30	15:30	15:30	15:30	15:30
16:00	16:00	16:00	16:00	16:00	16:00
16:30	16:30	16:30	16:30	16:30	16:30
17:00	17:00	17:00	17:00	17:00	17:00
17:30	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30
18:00	18:00	18:00	18:00	18:00	18:00
18:30	18:30	18:30	18:30	18:30	18:30
19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00
19:30	19:30	19:30	19:30	19:30	19:30
20:00	20:00	20:00	20:00	20:00	20:00
20:30	20:30	20:30	20:30	20:30	20:30
21:00	21:00	21:00	21:00	21:00	21:00
21:30	21:30	21:30	21:30	21:30	21:30
22:00	22:00	22:00	22:00	22:00	22:00
22:30	22:30	22:30	22:30	22:30	22:30
23:00	23:00	23:00	23:00	23:00	23:00
23:30	23:30	23:30	23:30	23:30	23:30
24:00	24:00	24:00	24:00	24:00	24:00

桃源台発



(いちむら記)